

のびよ 松っ子

～明るく 楽しく 前向きに～



令和5年8月9日
大村市立松原小学校
学校だより No.9
文責：校長 永富伸介

78回目の県民祈りの日

記録的な猛暑日が続いています。日中は外へ出ることをためらってしまうほどです。残念ながら、台風6号の接近に伴い、今日の全校登校日は中止となってしまいました。台風による被害等がないことを願うばかりです。

夏休みも半ば過ぎとなりました。子どもたちに係る事件や交通事故、水の事故等の連絡がなかったことが何よりも喜ばしいことでした。保護者の皆様、夏休み後半も子どもたちのことをよろしく願います。



モニュメント「未来の郵便屋さん」



さて、今日8月9日は78回目の「県民祈りの日」です。昨年の学校だよりにも書きましたが、私の父は長崎市岩川町で被爆しました。母子三人で親類を頼って長崎市から数日をかけ、命からがらの思いで大村市まで逃れてきました。同じように、松原小学校にも長崎市から救護列車で、全身にやけどなどの大けがを負った80名の方が運ばれてきたそうです(8月9日は、松原地区からも原子雲(きのこ雲)が見えたそうです)。そして、婦人会を中心とした地域の方々が、5日間懸命に救護に当たられました。今回4～6年生は、「松原の救護列車を伝える会」の朗読劇をDVD

で鑑賞し、こうした歴史の足跡や原子爆弾の悲惨さ、平和の尊さについて学習しました。

子どもたちから寄せられた平和学習の感想には「戦争をなくすには、相手に思いやりをもって行動すること」や「相手の気持ちを思いやって行動することや発言すること」など普段の生活の中から始まる「平和」について述べられているものがありました。日々の平和も大切にしていきたいものです。

また、校庭には平成27年に制作されたモニュメント「未来への郵便屋さん」があります。これは、武蔵野美術大学の学生と松原小の子どもたちが共同制作した作品です。救護列車の歴史を学んだ上で、未来に届けたい大切なものや届けたいものを鳥の郵便屋さんにとすというものです。黄色や青、緑といった色合いは「美しい地球」がイメージされています。日々眺めているモニュメントに込められた思いや願いを私たち大人は、子どもたちにも伝えていかねばならない、そんな思いを新たにしました。

今日は、各御家庭で平和について見て聞いて、考え、そして語り合う、そんな1日にさせていただけると幸いです。

